VELC Test (KNDFIXE)

大学生のための 英語力診断テスト

Visualizing English Language Competency Test

オンライン受験可能な VELC Test®Online 登場!

詳しくは ホームページ/





テストの 概要

VELC Test® PP

受験料金 800円(税抜) / 1人

試験時間 70分(音声CDで時間管理)

リスニング・リーディング 試験問題

各60 間 計120 間

解答形式 ペーパーテスト(マークシート形式)

VFI C Test®Online

受験料金 900円(税抜) / 1人

試験時間 通常版:70分 短縮版:55分

通常版:リスニング・リーディング 試験問題

各60間 計120間

短縮版: リスニング・リーディング

各45間 計90間

解答形式 オンライン(選択形式)





VELCTest®Online

自宅のパソコンやスマートフォンを使って受験する ことが可能になりました。年間受験者数が500人以 上の場合は、800円(税抜)/1人に割引します。





迅速な 結果诵知

受験結果は web上のeポートフォリオにてご覧いただき ます。最短でOnline版は試験終了日の翌日中、PP版は 返却資材到着の翌日中には結果を通知しています。 土日・祝日も対応可能です。





可視化された スコアレポート

eポートフォリオで通知されるスコアレポートでは

「実際に英語で何ができるか」を記載した、 10 段階で評価される Can Do レベル診断

英語の知識やスキルを細分化し、それぞれの能力を 診断するスキル別正答率と学習アドバイス

VELC スコアから予測されるおおよその目安となる TOEIC® L&R TEST のスコアを表示

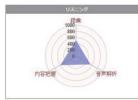
など、受験者の英語能力を細部まで可視化しています。

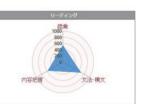


 VELC Test
 学籍番号: 1002
 VELCスコア
 564
 リスニングスコア
 543

 スコアレポート
 氏名: JIRO VELC
 リーディングスコア
 587

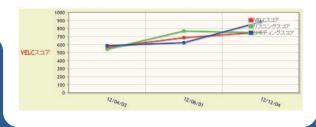
	Your Scores	
VELCスコア	564	8 0000000000
リスニングスコア	543	7 000000000
語彙	501	6 000000000
音声解析	535	7 000000000
内容把握	573	8 0000000000
リーディングスコア	587	9 000000000
語彙	531	7 0000000000
文法・構文	677	10
内容把握	563	8 0000000000







動画でわかる VELC Test http://www.velctest.org/movie



弘前大学様

木村宣美 教授

■導入までの経緯

弘前大学では、1 年次教養教育英語科目の習熟度別クラス編成のための英語プレイスメントテスト及び成績評価の一部に組み込む外部試験として、2018 年度に VELC Test を導入しました。

1年次教養教育英語科目は、これまでセンター試験(英語)の成績に基づいて習熟度別クラス編成を行ってきましたが、入試制度の変更に対応するために、2017年度に英語プレイスメントテストとしての外部試験の導入を検討しました。入学式後から授業開始までの短時間で試験を実施してクラス分け作業を行う必要性があるため、短期間で結果が報告されること、更にクラス分けの公平性のために、入学生がそれまでに受験したことがない外部試験であることなどを本学の定める条件とした結果 VELC Test が適合しました。また、成績評価の一部としてこれまで別の外部試験を使用してきましたが、英語プレイスメントテストと同じ試験とすることにより、継続的な学修成果や学力推移の検証が可能となり、教養英語の質保証の検証にも有効となることから、成績評価の一



部としての外部試験にも VELC Test の導入を検討しました。2017 年度にパイロット・スタディを 3 回実施し、結果の信頼性が得られたために、2018 年度に VELC Test を導入することになりました。

■活用事例

2018年度と2019年度は、4月の入学式の翌日に1年次生全員(約1,400名)がVELC Test を受験しました。中1~2日で前期1年次教養教育英語科目(Listening/Reading)のクラス分け発表資料をお送りいただき、また、学生とクラス担任教員に e ポートフォリオで詳細な結果を提示していただきました。各教員は、授業第 1 回にて、学生自身で VELC Test の結果を e ポートフォリオで確認することを周知させ、学生が自分自身の英語習熟度能力を把握し今後の英語学習の目標を設定するように指導しました。受講生は前期末と後期末にも VELC Test を受験し、その結果を本学の規定に沿った成績に換算していただき、成績評価の一部に組み込みました。前期末と後期末の結果も学生と教員に e ポートフォリオで提示していただくため、学生は自分の英語学習、そして教員は各学生やクラスへの教育的指導を振り返ることが可能です。 e ポートフォリオでは、Can Do レベル診断で自分が「できない」ことではなく、「できる」ことが表示されるため、学生の英語学習へのモチベーション向上が期待できます。また、TOEIC 予測スコアを TOEIC 受験が定に活用できるため、e ポートフォリオは学生の英語の自律学習にも役立っているようです。本学英語部門では、VELC Test を活用して学修成果や学力推移を客観的に検証し、より効果的な英語教育活動やカリキュラム編成を行なっています。

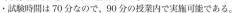
福岡大学様

大津敦史 教授

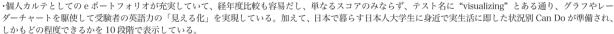
■導入までの経緯

本学では、2011 年度まで、他社制作のテストをプレイスメントテストとして利用してきました。しかしながら、そのテスト自体にいくつかの問題点があることが判明しました。そのため、これに代わるテストとして VELC Test を 2012 年度にま

ず実験的に導入することとなりました。その結果、以下の点でプレイスメントテストとして優れていることが明らかとなり、2013 年度、正式に導入するに至りました。



・素点による絶対評価ではなく、統計処理を行うことで標準スコアを 500 点として結果を出す。そのため、ほとんどの受験者のスコアは 300~700 点の範囲に分散するので受験者全体のスコア分布が把握し易い。



・おおよそのTOEIC予測スコアを提示している。

■活用事例

本学では、言語教育研究センターが主管となり、共通教育の英語の授業の中で、1年次と2年次の合計2回、全学部生(約9,000人)を対象に VELC Test を実施しています。1年次に履修するFE(フレッシュマン・イングリッシュ)では、後期開講クラスの大体10回目の授業で第1回目のテストを行い、2年次に開講されるIE(インターミディエイト・イングリッシュ)のクラス編成に役立てています。

具体的に言うと、IEでは目的別クラス選択制を敷いて、学生のニーズに合ったクラスを選択させています。そのため、問題用紙とマークシートを本学用にカスタマイズしていただき、問題用紙の表紙には目的別クラスの概要を、マークシートには希望クラスのアンケートを無料で追加記載していただきました。2年次の同じく後期の授業で第2回目のテストを行い、経年度比較をしています。

また、その詳細な分析結果は、当センターの旧「テスト専門部会」(座長:石井和仁人文学部英語学科教授)が中心となり、毎年 12 月に発行する「センター紀要」(ISSN 2185-5749) に掲載しています。

北九州市立大学国際環境工学部様

柏木哲也 教授

■導入までの経緯

英語の習熟度測定テストの選定にあたっては以下の点に留意しました。 中学校、高等学校では会話中心のコミュニケーションから始まり、徐々に難度の 高い文法事項を学んでいきます。同時に単語の難度も高く、文の構造も複雑になり、

中学校の3年生までに基礎的な文語に登場する文法項目と口語コミュニケーションに必要な全ての文法項目を学修します。高校に入ると読解中心の大学入試用英語に登場する難易度の高い単語や熟語を繰り返し練習し、テキストレベルでも複雑な長文の読解練習を行います。その中に登場する語彙は、社会に出てより専門的な英語に共通する基本語を含んでおり、特定の領域に偏った単語は学習しません。VELC テストは、出題語彙の分野も偏りがなく、満遍なくこれらの基礎領域をカバーできており難度も適切です。

価格面でも極めて現実的で満足できるコストであると言えます。また所用時間もテスト自体の時間が長すぎず、解答もマークシートのみで準備時間も短くて済みます。本学部では英語だけでなく理系科目の基礎学力測定テストも同日実施しますので、あまり長い時間

は取れません。入学前のオリエンテーション期間のタイトなスケジュール内で無理なく実施できる長さです。その後も迅速に結果が届けられ、授業開始時までにクラス分けを完了することが可能であることも重要です。また実際の熟達度との相関もある程度高く、TOEICの予測スコアと総評が示されるというメリットもあります。 最後は、結果のフィードバックの方法です。VELC テストのユニークさは、e ポートフォリオを使った結果のフィードバックを行っている点です。スコアだけでなく、知識・スキル別の細分型診断と状況別 Can Do レベルを使った英語力の提示が行われることで、学生は「自分が英語を使ってできること」を把握することができます。また e ポートフォリオは卒業まで 4 年間利用でき、TOEIC 等の外部テストの結果も蓄積が可能です。入学から卒業まで、学生の英語力の様々な指標を一元管理できるツールとして活用することができます。以上の点から、本学部では VELC テストを導入することに決定しました。

■活用事例

北九州市立大学国際環境工学部では入学時に1年次のクラス編成作業用のプレースメントテストとして VELC テストを導入しました。テストの結果はeポートフォリオを使って学生個人にフィードバックされますが、本学部ではこの結果を各クラス担当教員にも共有しています。各クラス担当教員は、学生の Can Doレベルやスキル別正答率を確認することで、担当する学生達の特徴を把握することが可能です。テストのスコアだけでは判らない学生の弱点の把握が、VELC テストの詳細な分析により可能になっています。今後、結果を経年蓄積することで、本学部に入学する学生の英語力の特徴や変化が、より詳細に把握できるはずです。

